

Appendix 2

気候変動に関する意見表明…パーマカルチャー諸団体より

パーマカルチャーは環境デザイン・システムであり、地球への配慮、人々への配慮、未来への配慮という3つの倫理を共有する実践者、教育者、研究者、組織人による世界的運動でもある。パーマカルチャーは多くの学問領域から得られた知識と実践を統合し、レジリエンスのある未来を確保しながら、人間のニーズを満たす解決策へとつなげる。わずかの資金と組織的サポートで、この運動は過去40年間に広がり、現在世界各地でプロジェクト事例が作られている。

パーマカルチャー運動は、大災害を引き起こす気候変動に、きわめて重要な視点と対応手段を提供している。

人間が引き起こした気候変動は社会システムの危機であり、システム的に語られる必要がある。新技術のひとつだけや総括的な解決では対応できない。パーマカルチャーはシステム思考を使う。パターン、関係性、動き(経過、変化)を観察する。そして自然協調的で地域の状況/地形/文化にも適合する複数の解決策を、相乗効果を発揮する戦略へとつなげていく。

気候危機を語る際は、社会経済的、環境的に公正なものでなければならない。解決の妨げとなるのは、政治的社会的なものであり、技術的なものではない。そして気候変動の最も深刻な影響を受けるのは、気候変動の原因とは最もほど遠い、フロントライン地域 (frontline communities=生活の脅威に直面する地域)である。先住民コミュニティは、私たちが自然界との調和を取り戻すのに役立つ重要な世界観や視点を持つ。私たちは敬意をはらって、異文化間やコミュニティ間の関係性を築き修復しなければならないし、フロントライン地域や先住民コミュニティの声、リーダーシップ、ニーズは問題を議論するにあたり、あらゆる努力を払って重視されなければならない。

パーマカルチャーの倫理は、豊かな恵を産み、その恵を公正に分ち合い、すべての人の利益のために過剰消費の制約へと私たちを方向づける。健全で公正な真に民主的なコミュニティが、気候変動解決への可能性を持つ。

化石燃料使用と、土地と資源の間違った使い方が、気候危機を引き起こしている。私たちは燃焼 (fire) を流れ (flow) に変えなければならない。それは石油、天然ガス、石炭、ウランを燃やすことから、太陽、風、水からのエネルギーの流れを安全で再生可能な方法で活用することである。

土は余分な炭素を貯留する重要な役割をする。世界各地の劣化した土を蘇らせれば、肥沃な土となって炭素が貯留でき、劣化した土地が蘇り、水質と水の循環が改善され、健康的な食べ物と真の豊かさが産み出される。気候変動の緩和と適応には、生態系と地域社会の保護、回復、再生が重要となる。

パーマカルチャーは土地とコミュニティを大規模に蘇らせるために、多くの学問分野よりの知識、経験、研究と実践を統合する。その方策(strategies)には以下が含まれる。

- ・安全で再生可能なエネルギーの諸技術
- ・科学研究と、知識、情報、技術革新の交換
- ・取水、保水、実用的な水活用システムの回復
- ・森林保全、森林再生、持続可能な林業
- ・環境再生型農業の実践——有機、不耕起と省耕起、多品種栽培、小規模集約システム、農業生態学 (agroecology)
- ・ローテーション放牧計画、ラン、草地の回復、森林放牧(silvopasture)システム
- ・森林農業 (agroforestry)、食べられる森 (food forest)、多年生植物システム
- ・微生物、植物による汚染除去 (bioremediation)、真菌類による汚染物質除去 (micoremediation)
- ・生物的手法による土中の有機炭素を増加：コンポスト、コンポスト液肥、マルチ、菌類、ミミズ、有効微生物群
- ・炭素固定と土づくりのために持続可能な方法で生産されたバイオ炭 (biochar)
- ・海洋生態系の保護と回復
- ・協同組合、地域通貨、贈与経済、水平的な経済ネットワークを方策として組み込んだ、地域に根差した経済モデル
- ・コミュニティに役立つように、食料システムや事業経済活動の再地域化
- ・資源保護、エネルギー効率、再利用、リサイクル、そして全てのコストを計算
- ・より健康的な、気候変動を起こさない食生活への変化
- ・デモンストレーション事例、モデルとなるシステム、エコビレッジやインテンショナル・コミュニティ (intentional communities=共通の目的やビジョンで作られた実験的なコミュニティ)
- ・対立変容 (conflict transformastion)、トラウマのカウンセリング、身体的/精神的な癒し
- ・コミュニティのレジリエンス形成のためのトランジションタウンその他の地域活動
- ・その他たくさん!

以上の方策はいずれも単独では機能しない。地球上のすべての場所はそれぞれユニークなので、気候変動を緩和し適応するには、技術や実践の独自の組み合わせが必要になる。

これらの方策への知識を深め、適用し、組み合わせる能力向上のために、公平な独立した科学研究に資金提供し支える必要がある。

この大きな地球的課題に立ち向かうにあたり、私たちのそれぞれがユニークでなくてはならない役割を果たす。深刻な危機であるが、共に希望と行動で立ち向かうなら、健康で調和がとれて、活力があり公正で、豊穡な美しい世界を作るための必要な方法を、私たちは持ち合わせている。

———以上、パーマカルチャー国際会議ロンドン2015の総会にて採択